

生き生き消防団



光で浮き出る“現代防火紙芝居” ～全国初の動く!! 光る!! 防火劇「パネルシアター」～

北九州市戸畑消防団

1 はじめに

北九州市戸畑区は、福岡県の北方にある北九州市のほぼ中央に位置し、人口約6万2千人、面積16.7km²で、明治34年「官営八幡製鐵所」が建設されたことから工業都市として急激に発展した街です。

そのため、その当時、急増した人口に伴い多くの木造住宅が建設され、現在は、老朽木造家屋密集地域が多く存在しています。また、高齢化率も進んでおり、25.9%（住民基本台帳：平成22年3月末現在）と、全国平均23.0%（総務省統計局推計人口：平成22年4月1日現在）より約3ポイントも上まわっているところです。

このような状況から、北九州市戸畑消防団では、一旦火災が発生すると延焼拡大危険が高いことや、高齢者の逃げ遅れが懸念されていることから、女性消防団員を中心に火災予防に積極的に取り組んでいます。

現在、女性消防団員は、20人（全団員：140人、充足率100%）で、活動内容は、防火訪問、応

急手当の普及指導、防火指導等を行っており、その一つに全国初!! 動く! 光る! 防火劇『パネルシアター』を実施しています。

2 全国初!! 動く! 光る! 『パネルシアター』による防火啓発

北九州市戸畑消防団では、効果的な火災予防を推進するため、全国初の女性団員手作りの紙芝居「パネルシアター」でPRすることにしました。

この「パネルシアター」とは、暗い部屋に黒布を貼った大きなパネルを置き、様々な光を照らし、蛍光人形によって表現する「動く! 光る! 大型現代紙芝居」です。

主に高齢者のための「ふれあい昼食会」や自治会の行事の機会を捉え、歌や演技をまじえながら動く! 光る! 現代紙芝居のパネルシアターを実施しています。体験した住民からは、「おもしろかった。火の怖さがわかった。住宅用火災警報器は大切だ。」、「楽しみながら、防火に

関する知識や技術が身に付く。早く私の家も住宅用火災警報器を設置しよう。」と好評です。

このパネルシアターは、平成22年7月29日、奈良市で開催された「第16回 全国女性消防団員活性化奈良大会（主催：総務省消防庁、日本消防協会等）」の火災予防啓発劇の部でも披露しました。

3 経緯

約10年前、女性団員の活性化のため「何かできないか」と考え、女性団員が話し合い、当時、保育園のPTAの役員をしていた団員からブラックライトを活用した防火・防災啓発劇の発案がありました。

全国には、例がなかったため、最初は試行錯誤で取り組んでいた団員も、様々な情報を得て苦労しながら、翌年、平成12年にパネルシアター劇団を結成し、現在に至っています。



全国の女性団員を前に先進事例として「パネルシアター」を発表

4 特徴

(1) 全国初のパネルシアター

女性団員がどこにも無い、だれも挑戦したことも無いことに挑戦したいという熱い情熱と、豊かな想像力で「ブラックライトと紙芝居を融合させた現代紙芝居」を防火・防災啓発劇「パネルシアター」として全国で初めて取り組みました。

(2) 内容も工夫

現在、総務省消防庁が推進している「住宅火災警報器の設置促進」や「若年層の防火・防災教育の推進」、「AEDの普及促進」を取り入れた内容にしています。

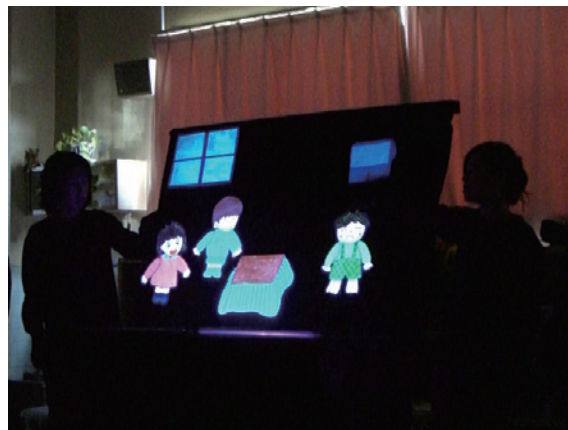
(3) 対象を分けて

若年層と高齢者に分けたことで、対象者が内容を理解しやすいように工夫しました。

①：若年層向け

ア 火遊びなどの怖さ

イ 火気使用は大人と一緒に



ブラックライトを使用したパネルシアター

- ウ 119番通報の要領
- エ 住宅火災警報器の設置促進 など

②：高齢者向け

- ア 住宅火災警報器の設置促進
- イ 高齢者の救急事案を踏まえた救急処置法の紹介（AED使用方法等）
- ウ 119番通報の要領
- エ 近隣住民との共助の大切さ
- オ 高齢者宅への防火訪問「いきいき安心訪問」の紹介 など

(4) 心温かい手作り

全国初の試みであったため、ブラックライトの装置から特殊なインクを使用した人形、その他、衣装、ケース等に至るまで、すべて団員が色々な知恵を出し、力を合わせて楽しみながら約3ヶ月をかけて作成しました。

(5) 出前授業

幼稚園や保育園への出前授業では、ギターやピアノの演奏にあわせて、歌や演技をまじ

えて「パネルシアター」を子どもや先生と一緒にやって行っています。

5 苦勞した点

(1) パネルシアターをどのように効果的に伝えるか

「パネルシアター」は、初めての試みであったため、どのようにして人に効果的に伝えるかが、問題となりました。

実施にあたっては、幼稚園や公民館の関係者等多くの人から意見を聴取し、その結果、動きのあるものが良いことが分かり、人形の関節部が可動したり、燃え上がる炎が次第に大きくなる工夫などをしました。

また、ブラックライトを活用した大型紙芝居の暗部分と、団員自身が衣装を身にまとい劇をする明部分をつくり、全体を通してメリハリのある構成にしています。



幼稚園児の防火教育として「パネルシアター」を実施

(2) 音響効果による臨場感の向上

サイレンの音、風の音、住宅火災警報器の警報音などを録音して、音響も劇に取り入れ、臨場感を向上させることとしました。

(3) 発声練習

聞き手に分かりやすく伝えるため、発声方法も専門の先生からアドバイスを受けました。初めは、腹式呼吸ができなかった女性団員もレッスンの結果できるようになりました。また、なかでも、聞き取りにくい発音を治すのには大変苦労しました。

(4) 分かりやすい表現

台本を作成している時、「どのようにすれば分かりやすくなるのか」女性団員皆で考え次のような工夫をしました。

◇良い例と悪い例の対比

119番通報要領の紹介場面では、まず、悪い例を実演し、一旦ストップして、次に、良い例を紹介して、視聴している人がより分かり易いようにしました。

◇立体的と平面的に同時に解説

AEDの取扱要領の紹介場面では、実際に床に練習用の人形を置きAEDを装着して解説しながら、同時に見易いように掲示板に人間の心臓の位置を示したイラストを貼りAEDのパッドの装着位置を説明して、視聴している人がより分かり易いように工夫しました。

(5) 台本は全て暗記

スムーズに劇を進行させるため、ナレーション担当の女性団員以外は、台本を全て暗記して演技をします。

女性団員は、仕事や家事の都合もあり、全員が揃って練習することが困難なのが現状で、全員が暗記して実演できるようになるまでには、約2～3ヶ月を要しました。

(6) 皆で助け合って

子育て期間中の女性団員もおり、練習中は、男性団員が子守をして、時には、団長自ら幼い子をあやしました。また、専業主婦の団員は、子どもが幼稚園や学校に行っている間に、道具を作成する等して、職業を持つ女性団員をカバーするなどして皆で助けあって、このパネルシアターを作り上げました。

(7) 楽しみながら

全国に例がない、台本は全て暗記等の大変なこともありましたが、皆でワイワイ「楽しみながら」頑張りました。

孔子も「論語」の一節で「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。（参考：如かず＝及ばない）」と説かれています。

まさに、「楽しみながら」やってきた結果が、今日の戸畑消防団の女性団員の姿につながっているように感じられます。

6 おわりに

このパネルシアター劇団を平成12年に結成し、ちょうど10年目となる平成22年に全国女性消防団員活性大会に出場でき、良い思い出と経験になりました。

大会前には、市長から激励を受け、大会当日は、約2,500人も消防関係者を前に先進事例として発表しました。大会後も、「どのようにやるのか、具体的に教えて頂きたい」、「道具を見せてほしい」等の反響もあり、他都市からの視察も複数件にもおよび、そのせいもあってか、最近、女性団員が前にも増して“生き生き”しているように感じられます。

皆さんも、この「パネルシアター」に挑戦してみませんか。ご希望の方には、マニュアル(A4版、P29)をお届けしますのでご連絡ください。

今後も、北九州市戸畑消防団では、**楽しみながら“生き生き”**とした消防団活動を展開し、安全で安心して暮らすことができるまちづくりに努めていきます。

【連絡先】

北九州市消防局 戸畑消防署 予防課 庶務係
〒804-0082

福岡県北九州市戸畑区新池2-1-15

Tel : 093-861-0119

Fax : 093-883-0173



市長から全国大会前に激励を受けた女性団員



パネルシアターのマニュアル